

2025 年 1 月 15 日

各 位

金沢信用金庫

中小企業景気動向調査の結果について

金沢信用金庫（理事長 広岡 克憲）では、中小企業景気動向調査を四半期毎に実施しています。つきましては、今期（2024 年 10～12 月）の調査結果を下記のとおりご案内いたします。

記

概況 [業況・売上額・収益ともに改善]

金沢信用金庫が行った中小企業 107 社の景気動向調査（調査回答先：金沢市中心の業務区域内 150 社・回答率 71.3%）の概況は次のとおりです。

今期の全産業ベースの業況判断D I（「良い」・「やや良い」－「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ）は 7.5（前期▲11.3）と 18.8 ㊦改善しました。

業種別では、製造業が▲10.8（前期▲28.6）と 17.8 ㊦ほか、卸売業が 36.4（前期▲12.5）と 48.9 ㊦、小売業が 0.0（前期▲25.0）と 25.0 ㊦、建設業が 23.5（前期 20.0）と 3.5 ㊦、サービス業が 31.3（前期 6.3）と 25.0 ㊦改善しましたが、不動産業は▲12.5（前期 0.0）と 12.5 ㊦悪化し、全産業ベースでの来期予想D Iは▲9.3 と 16.8 ㊦悪化すると予想しています。

また、全産業ベースの売上額判断D Iは 27.4（前期▲11.3）と 38.7 ㊦改善し、収益判断D Iも 15.1（前期▲13.4）と 28.5 ㊦改善しました。来期予想では、売上額判断D Iが▲11.2、収益判断D Iも▲15.0 と悪化すると予想しています。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」（全回答中 37.4%）で、以下、「人手不足」（全回答中 33.6%）、「原材料高」（全回答中 29.0%）となりました。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「人材を確保する」（全回答中 41.1%）で、以下、「経費を節減する」（全回答中 40.2%）、「販路を広げる」（全回答中 19.6%）という結果となりました。

（注）2024 年 7～9 月を前期、2024 年 10～12 月を今期、2025 年 1～3 月を来期といいます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢信用金庫 営業店サポート部

〒920-8710 金沢市南町 1-1

TEL (076) 231-0274 (ダイヤル)

FAX (076) 231-7864

<https://www.shinkin.co.jp/kanazawa/>

中小企業景気動向調査

(2024年10～12月調査)

きんしん
景況レポート

vol.186

(2025年1月15日発行)

目次

全業種業況概要(業況～設備の状況)	1
業種別業況の推移	4
製造業／卸売業／小売業	4
建設業／サービス業／不動産業	5
特別調査「2025年(令和7年)の経営見通し」	6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に
Webアンケートを実施し
ご回答いただいたものです。

●調査時点

2024年12月初旬

●調査対象時期

2024年10月～12月実績及び
2025年1月～3月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	50	33.3	37	74.0
卸売業	13	8.7	11	84.6
小売業	25	16.7	18	72.0
建設業	24	16.0	17	70.8
サービス業	25	16.7	16	64.0
不動産業	13	8.7	8	61.5
合計	150	100.0	107	71.3

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)

B=ややA

C=普通(変わらず・適正)

D=ややE

E=悪い(減少・下降・不足)

$$D.I = A \cdot B - D \cdot E$$

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益ともに改善

金沢信用金庫が行った中小企業107社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内150社・回答率71.3%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は7.5(前期▲11.3)と18.8%改善した。

業種別では、製造業が▲10.8(前期▲28.6)と17.8%ほか、卸売業が36.4(前期▲12.5)と48.9%、小売業が0.0(前期▲25.0)と25.0%、

建設業が23.5(前期20.0)と3.5%、サービス業が31.3(前期6.3)と25.0%改善したが、不動産業は▲12.5(前期0.0)と12.5%悪化し、全産業ベースでの来期予想DIは▲9.3と16.8%悪化すると予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは27.4(前期▲11.3)と38.7%改善し、収益判断DIも15.1(前期▲13.4)と28.5%改善した。来期予想では、売上額判断DIが▲11.2、収益判断DIも▲15.0と悪化すると予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も

多かった回答は「売上の停滞・減少」(全回答中37.4%)で、以下、「人手不足」(全回答中33.6%)、「原材料高」(全回答中29.0%)であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「人材を確保する」(全回答中41.1%)で、以下、「経費を節減する」(全回答中40.2%)、「販路を広げる」(全回答中19.6%)という結果となった。

(注)2024年7～9月を前期、2024年10～12月を今期、2025年1～3月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ←



→ 低調

時 期		2023年(令和5年)				2024年(令和6年)				見 通 し 2025年(令和7年)
業 種 名		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
総 合										
製 造 業										
卸 売 業										
小 売 業										
建 設 業										
サ ー ビ ス 業										
不 動 産 業										

全業種

	2023年(令和5年)				2024年(令和6年)				見 通 し 2025年(令和7年)
	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
業 況	▲16.6	▲ 0.6	▲ 4.2	2.5	▲17.5	▲ 6.6	▲11.3	7.5	▲ 9.3
売 上 額	▲18.8	8.3	10.7	3.8	▲20.6	12.7	▲11.3	27.4	▲11.2
受 注 残	▲21.0	3.8	2.5	4.2	▲28.6	▲ 3.1	▲22.0	15.1	▲28.8
収 益	▲21.2	▲ 8.9	▲ 4.2	▲ 7.6	▲24.4	5.2	▲13.4	15.1	▲15.0
販 売 価 格	27.1	32.5	27.4	28.0	11.9	20.3	16.7	26.2	17.8
原 材 料 価 格	57.4	54.4	54.2	42.0	37.5	56.6	50.5	49.5	45.3
在 庫	▲ 2.1	2.8	4.3	9.1	1.5	1.8	6.2	▲ 1.1	▲ 1.1
資 金 繰 り	▲ 9.5	▲ 7.1	▲ 8.3	▲ 8.9	▲16.3	▲ 2.9	▲10.4	▲ 4.7	▲11.2
雇 用 (人手)	▲33.9	▲33.7	▲34.5	▲35.0	▲31.9	▲30.4	▲39.6	▲38.3	▲27.1
設 備 状 況	▲13.5	▲11.0	▲14.3	▲15.4	▲13.6	▲15.9	▲17.8	▲17.2	▲14.4

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた99社の動向です。

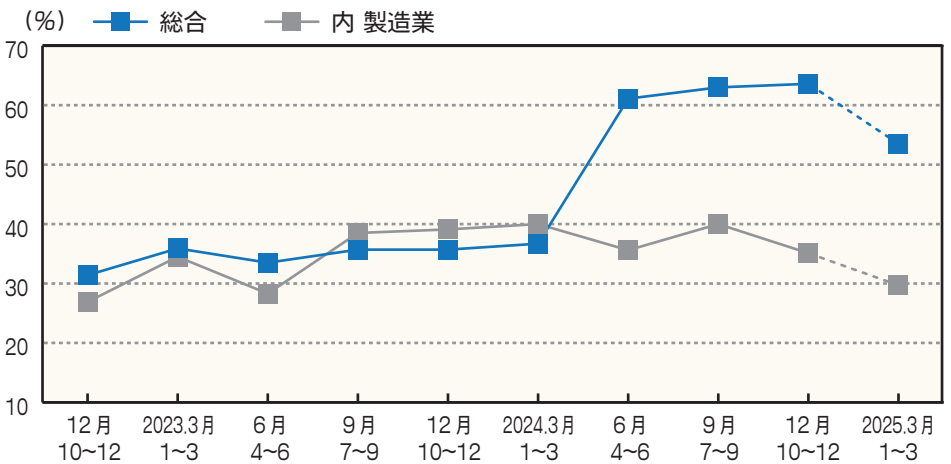
● 10~12月の設備投資実施状況

		有	無
	数	63	36
総 合	%	63.6	36.4
(内 製造業)	数	13	24
	%	35.1	64.9

(来期見通し)

		有	無
	数	53	46
総 合	%	53.5	46.5
(内 製造業)	数	11	26
	%	29.7	70.3

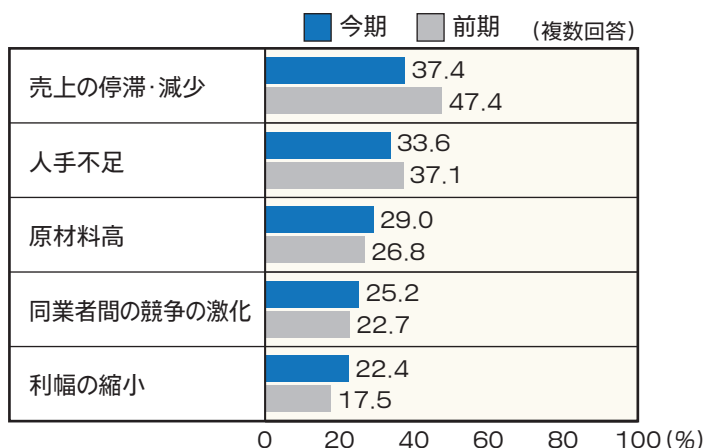
● 設備投資実施(予定)割合



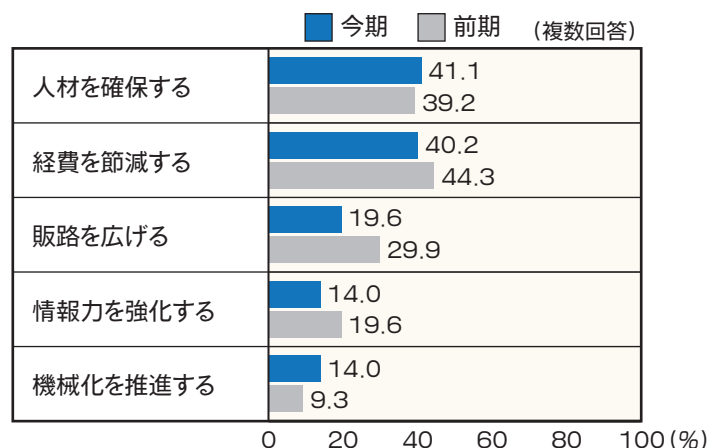
● 10~12月に実施した設備投資の内訳 (複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
	%	1.0	5.1	28.3	11.1	24.2	0.0
総 合							
(内 製造業)	%	2.7	8.1	10.8	10.8	10.8	0.0

経営上の問題点



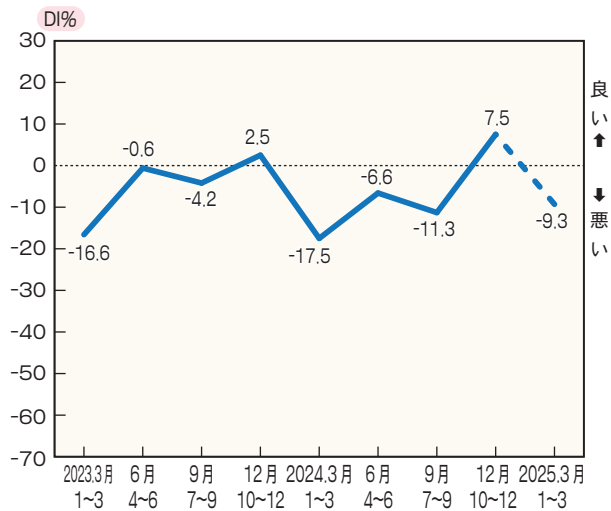
重点経営施策



全業種

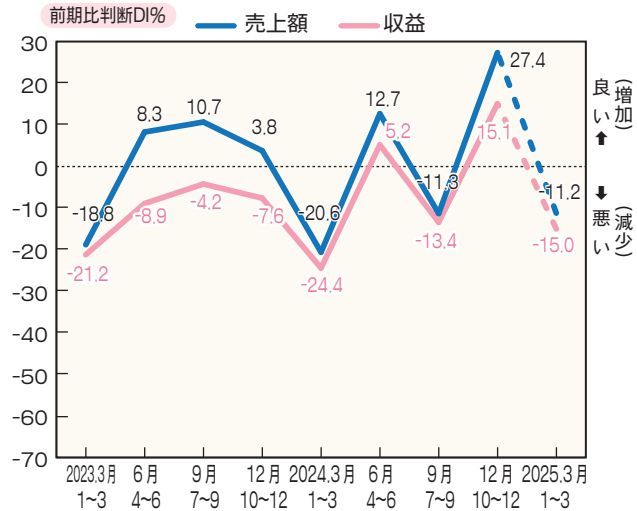
業 況

前期から18.8ポイント改善し、
来期は悪化すると予想



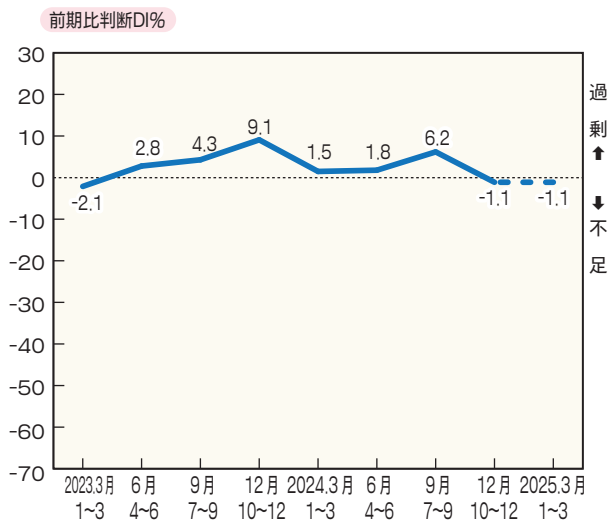
売上額・収益

売上額・収益ともに改善、
来期はともに悪化すると予想



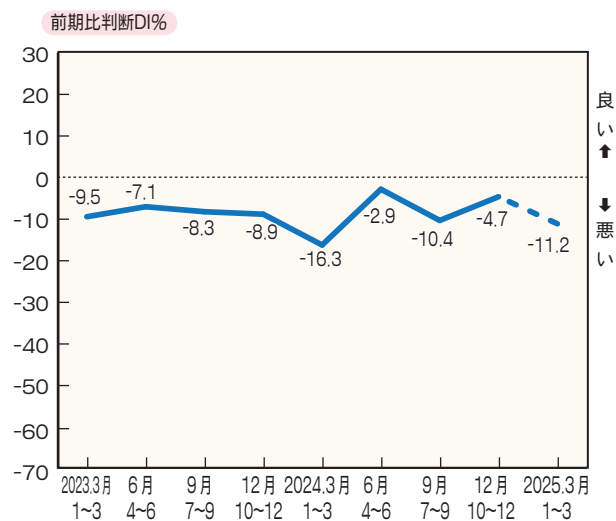
在 庫

今期▲1.1 (前期6.2)と
在庫が不足する傾向にある



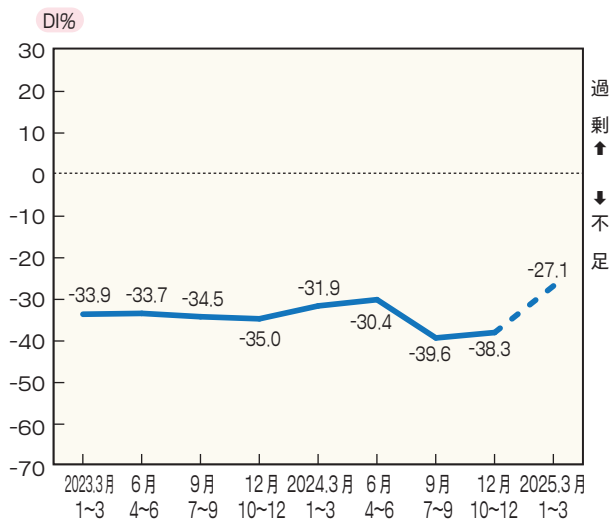
資金繰り

今期▲4.7 (前期▲10.4)
と改善



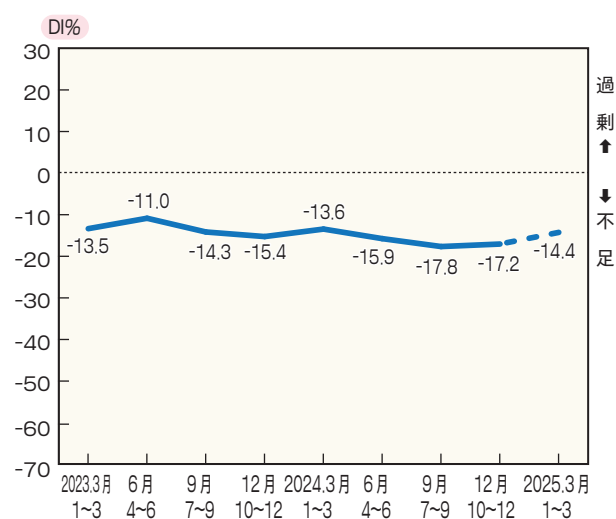
雇 用

今期▲38.3 (前期▲39.6)と
▲30.0以下を維持



設備の状況

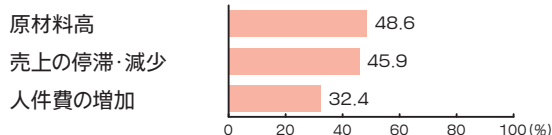
今期▲17.2 (前期▲17.8)と
▲10.0以下を維持



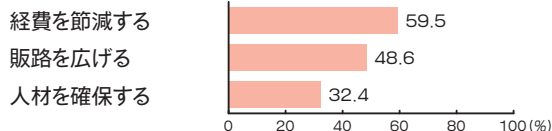
製造業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



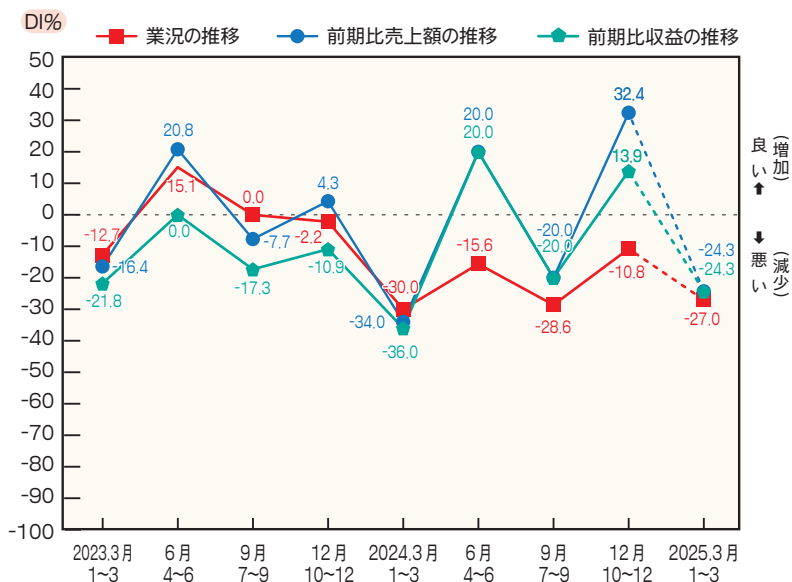
◆ 昨年同時期(2023年10~12月) に比した動き

売上額	2.7
収益	2.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	21.6%
借入の予定	10.8%

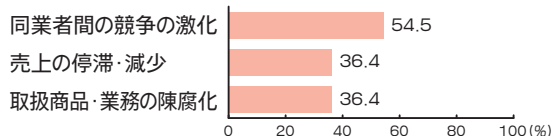
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



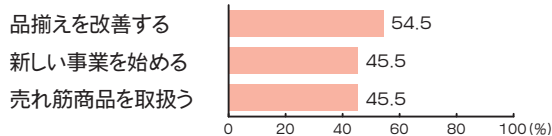
卸売業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



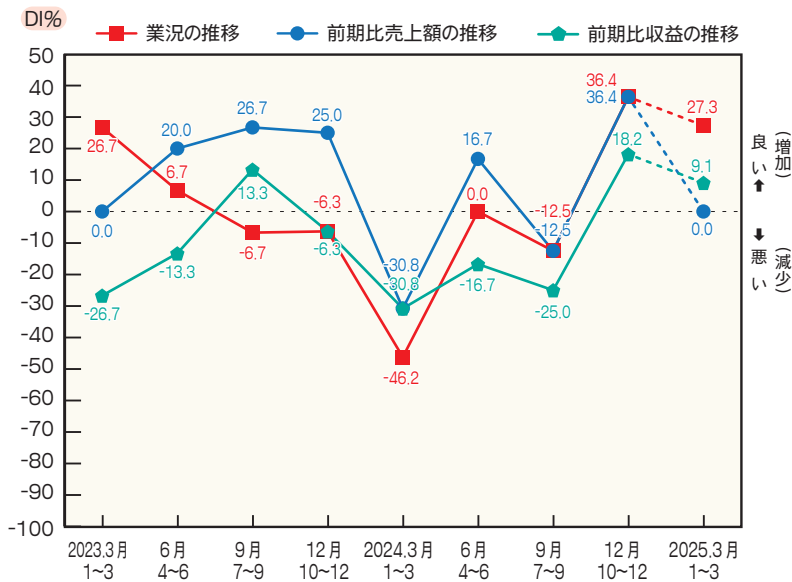
◆ 昨年同時期(2023年10~12月) に比した動き

売上額	18.2
収益	45.5
販売価格	72.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	30.0%
借入の予定	27.3%

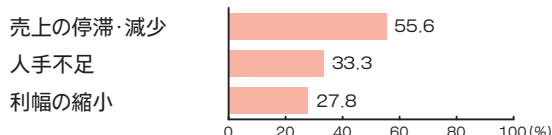
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



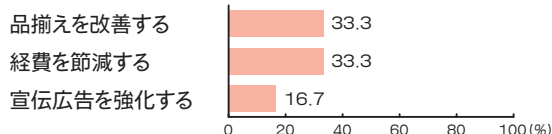
小売業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



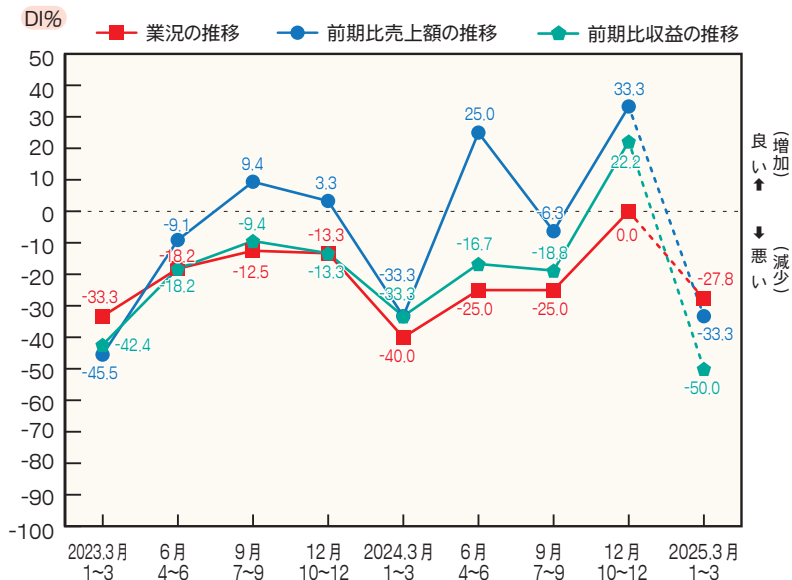
◆ 昨年同時期(2023年10~12月) に比した動き

売上額	22.2
収益	0.0
販売価格	66.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	27.8%
借入の予定	11.1%

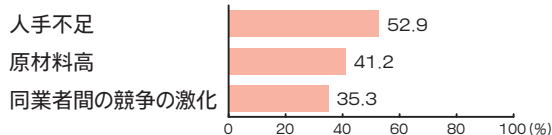
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



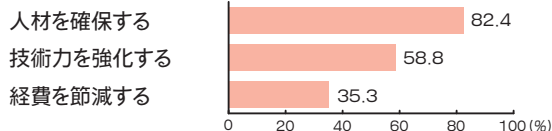
建設業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



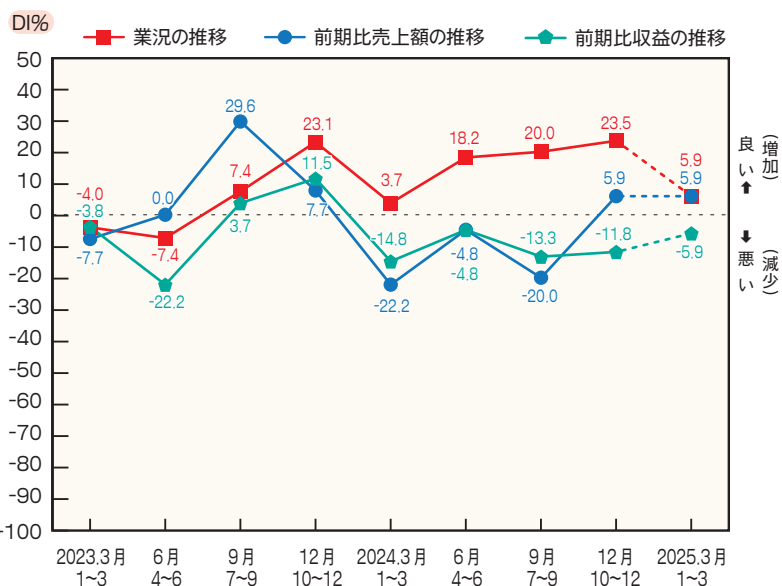
◆ 昨年同時期(2023年10~12月) に比した動き

売上額	17.6
収益	0.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	50.0%
借入の予定	35.3%

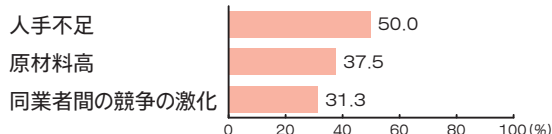
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



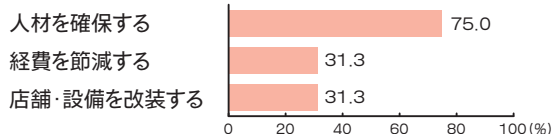
サービス業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



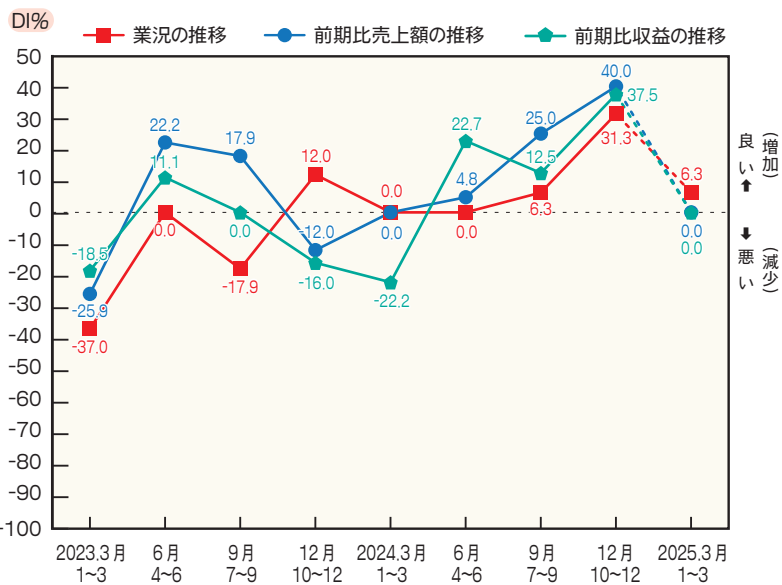
◆ 昨年同時期(2023年10~12月) に比した動き

売上額	43.8
収益	43.8

◆ 借入金の動き

借入の実施	18.8%
借入の予定	18.8%

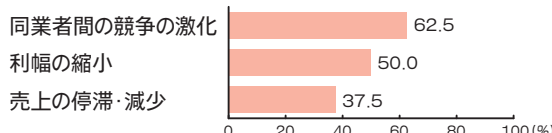
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



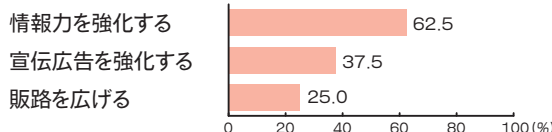
不動産業

業況が悪化するも、
売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



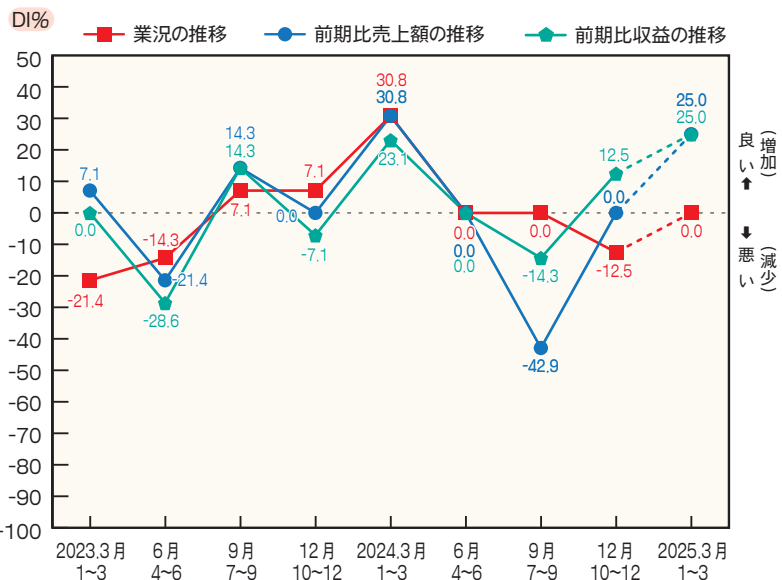
◆ 昨年同時期(2023年10~12月) に比した動き

売上額	0.0
収益	0.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	37.5%
借入の予定	25.0%

◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移

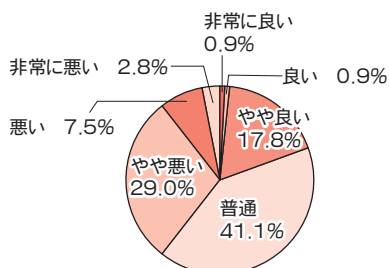




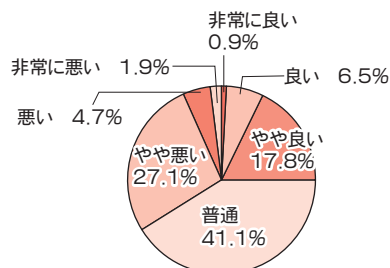
2025年(令和7年)の経営見通し

107社に調査し回答をいただいたものです。

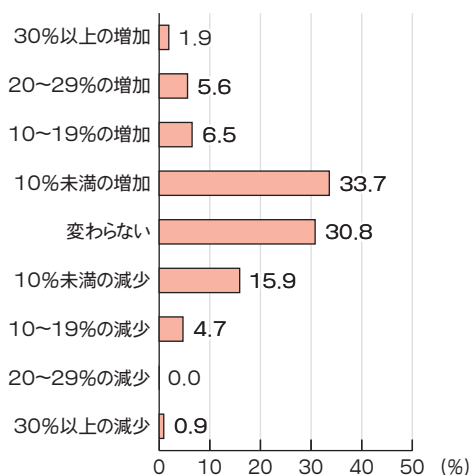
- 1** 2025年の日本の景気をどのように見通していますか。当てはまるものをお選びください。



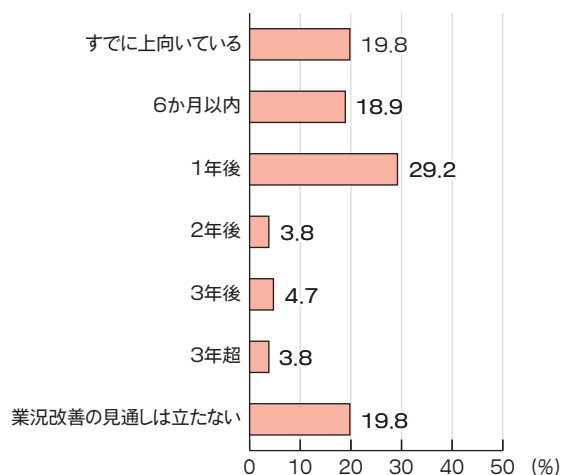
- 2** 2025年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。当てはまるものをお選びください。



- 3** 2025年において売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。当てはまるものをお選びください。



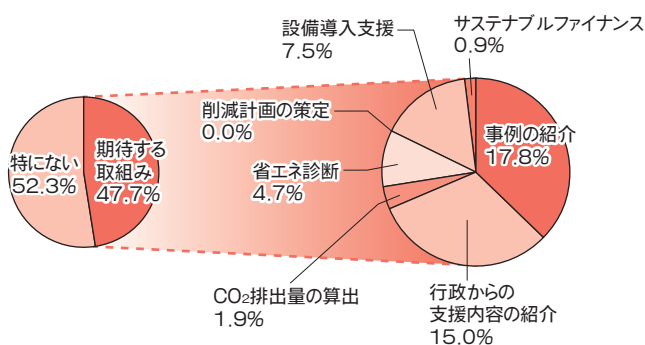
- 4** 自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。当てはまるものをお選びください。



- 5** 脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。また、信用金庫業界が地域のために積極的に以下の取組みを行っていることを知っていますか。それぞれ当てはまるものをお選びください。

脱炭素化に向けた取組みの事例
情報提供: コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介
現状把握: CO₂排出量の算出サービスの紹介
計画策定: 省エネ診断の紹介、CO₂排出量削減計画の策定支援
対策実行: LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援
資金供給: サステナブルファイナンス(SDGs・脱炭素化対応融資)

信用金庫業界に期待する取組みについて



信用金庫業界の取組状況について

